

スポーツ少年団
FC角館セレジェスタJr.

チームスローガン
「楽しく！勝つ!!」



第35回 TOYOTA ジュニアカップ U11 少年サッカー決勝大会で見事第3位の成績で東北大会へ

秋田県新人戦第3位で東北大会出場

1987年設立のサッカーチームで、現在の団員は、6年生4人、5年生7人、4年生9人、3年生11人、2年生2人、1年生3人の総勢36人です。角館、神代、生保内、白岩、中仙、花館、横手北の小学校からサッカー好きが集まり、週に3〜4日練習しております。

11月下旬に開催された大会は、5年生以下の秋田県新人戦でもあり、地区予選を勝ち抜いた32チームのトーナメント戦で争われました。1回戦は順調に勝ち、2回戦ではPK戦で勝利をもち取り、準々決勝は快勝しました。準決勝で、優勝したブラウブリッツ秋田に敗れましたが、3位決定戦では見事に2対1で勝利し、初の第3位となりました。

秋田県の第3代表として、3月に開催される「宮城県サッカーフェスティバル」(東北6県の代表が参加する大会)への出場が決まりました。

ゲームキャプテン

青山 航晟(角館小5年)

新人チームでの初めての全県大会で強いチームばかりなので、1試合ずつ、いつも通りの「繋ぐサッカー」を心掛け全力でプレーした。3位になることができ嬉しいが、優勝できなくて残念でもある。3月の大会は、よりハードな試合になると思うが、いつも通りのプレーをし、優勝を目指して頑張りたい！

チーム代表 柴田 和哉

秋田県新人戦では、セレジェスタらしいパスを繋いだ丁寧なサッカーでゲームを作り、全県第3位になってよかった。3月の大会では他県のチームの力を感じて、良い経験を積み、楽しみながら思いっきりやって欲しい。

監督 菅原 大末(ひろみ)

今大会の登録メンバー

背番号	位置	選手名	学年	学校名
1	GK/FP	渡邊 和己	5	花館
2	FP	千葉 玄士	5	生保内
3	FP	高橋 直生	4	太田南
4	FP	辻 快都	4	西明寺
5	FP	渡辺 楓斗	4	角館
6	FP	田口 旺典	4	生保内
7	FP	青山 航晟	5	角館
8	FP	巖生 晟生	5	横手北
9	FP	田口 徳真	5	角館
10	FP	柴田 陽向	5	生保内
11	FP	米澤 史紋	4	角館
12	FP/GK	渡部 大翔	5	角館
13	FP	石郷岡 廉	4	角館
14	FP	橋 海剛	4	角館
15	FP	田口由騎人	4	生保内
16	FP	高橋 柁人	4	豊成

柴田 優星さん(生保内中学校2年)



「日台国際野球大会」東北選抜チームで大活躍

小学校1年生から田沢湖イーグルススポーツ少年団で野球を始め、6年生の時には東北楽天ゴールデンイーグルスジュニアチームに選ばれ、主将としてチームをけん引し、プロ野球12チームのジュニアチームが参加した「NPBジュニアトーナメント」で準優勝に貢献しました。生保内中学校に入学してからは、硬式野球をやりたいということで、秋田北里トルシニアで捕手としてプレーをしています。

12月27日〜31日の日程で台湾・嘉義市を会場に開催された「第19回日台国際野球大会」に東北選抜チームの一員として出場しました。この大会は秋季新人東北大会ベスト8入りしたチームから2名ずつ選ばれ「東北選抜チーム」が結成されるのですが、チームが敗れたものの、ただ一人だけ指導者推薦で選ばれました。日本からは東北選抜をはじめとした10チームが参加し、台湾の10チームと対戦。東北選抜は7勝2敗1分けて20チー

ム中4位の好成績で、4番打者として9打数4安打の大活躍でした。



東北選抜チーム4番の力強いバッティングフォーム

◆大活躍した優星君にお話を聞いてみました。

Q. 初めての国際大会はどうでしたか?
「とても緊張したが、試合を楽しむことができた。高いレベルを経験できたことが自分にとって大きな財産になると思う。」

Q. イメージしていたプレーができましたか?
「4番打者として、チャンスではしっかり打点をあげ、捕手としても盗塁を阻止することでき、チームに貢献できたと思う。」

Q. これからの目標は?
「今は体作りをしっかりやって、高校では甲子園出場、そしてプロ野球選手を目指します!」

Q. 最後に、いつも見守ってくれているお母さんへ一言!
「いつもサポートしてくれて本当にありがと〜大好きです!!」

(小田島広仁記)